

会 議 録 (要旨)

附属機関又は 会議体の名称		令和4年度第5回豊島区介護保険事業計画推進会議
事務局（担当課）		保健福祉部介護保険課
開 催 日 時		令和5年3月1日（水）18時30分～19時44分
開 催 場 所		対面会議・Web会議併用 豊島区役所本庁舎5階 509・510会議室
議 題		<p>（1）介護保険事業計画推進会議</p> <p>①豊島区高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の進捗状況について</p> <p>②豊島区高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画策定に向けたアンケート調査の報告について</p> <p>（2）地域密着型サービス事業所の指定・指定更新について</p>
公開の 可否	会 議	公開 傍聴人数0人
	会 議 録	公開
出席者	委 員	宮崎牧子、長倉真寿美、知脇希、新居延偉仁、嵯峨英雄、市川真紀、山根明子、高田靖、田崎崇、斎藤明子、小林純子、外山克己、柴崎裕太、澤田潔
	理 事 者	保健福祉部長、福祉総務課長、高齢者福祉課長、介護保険課長
	事 務 局	介護保険課 管理グループ

○会長 それでは、定刻のため、第5回豊島区介護保険事業計画推進会議を開催させていただきます。

委員においては、お忙しい中御出席賜りまして、誠にありがとうございます。

本日は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、対面会議とWeb会議システムを併用した方法での実施とさせていただきます。事務局より会議の運営方法の確認をお願いします。

○介護保険課長 会議の運営方法の確認をさせていただきます。Webから出席される委員においては、カメラはオンにして参加いただくようお願いする。発言する場合は、会場に越しいただいている委員も、Webから参加の委員も、挙手をお願いする。会長に確認いただき、指名をしていただきますので、指名に基づき発言のほどお願いします。Webから参加の委員は、発言する際は画面左下のミュート機能を解除してから発言をお願いします。また、発言が終わり次第ミュートにさせていただくようお願いする。また、挙手しているにもかかわらず発言希望の意思が伝わっていないと思われる場合には、Web会議システムのチャット機能等で事務局へ意思を伝えいただくことも可能である。

なお、Webで参加いただいている委員から誰が発言しているのか分かりにくいとの意見を頂いた。発言いただく際には、最初にお名前を言ってから発言いただくようお願いする。

○会長 ありがとうございます。

続いて、事務局より本日の資料の確認をお願いします。

○介護保険課長 資料の確認をする。

【介護保険課長より資料の確認】

○会長 ありがとうございます。

次に、委員の退任があったため、事務局より紹介をお願いします。

○介護保険課長 資料1で委員名簿のとおり、社会福祉関係者の福田房子委員が民生児童委員を退任したため、豊島区介護保険事業計画推進会議の委員も併せて退任となった。後任の委員については、現在選出しているため、本日は欠員となっている。

○会長 ありがとうございます。

本日は傍聴者の方はいないため、早速議事に入る。

○会長 本日最初の議事は、「豊島区高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の進捗状況について」である。事務局から説明をお願いします。

○介護保険課長 事務局から説明させていただく。

【介護保険課長より資料2の説明】

○会長 説明ありがとうございました。

それでは、今の説明の内容について質問や意見があれば、挙手をお願いします。

委員、お願いします。

○委員 先日、介護予防センターでフレイルチェックを受けてきた。それまでは「フレイル」という言葉自体にもなじみがなく、よく分からなかった。家族に「フレイルって分かるか?」と言っても、「何それ?」で終わっていた。フレイルというのは、いわゆる加齢による筋力低下の身体のチェック予防、心、考え方、記憶力等の頭の老化チェック予防、こういうふうになれば健康で自立して健康寿命が伸びるのだなというのをつくづく感じた。

介護予防センターのスタッフの方が非常に明るくて、応援スタッフも手伝っていただいた。最後に意見交換会があり、「皆さん一人一人どんなことを感じましたでしょうか」といわれ、「65歳になって、前期高齢者になって、それから後期高齢者になる。このグルーピングは、国や都が決めたとはいえ、前期や後期など、80歳になったら末期高齢者なのか」と言ったら、うなずきながら笑って頂いた。「ぜひ豊島区ならではの愛称、例えば「なりたて高齢者」とか「先輩高齢者」とか、前期高齢者の後ろに括弧書きでもいい。何か愛称があるといい」と言ったら、スタッフの方からも拍手を頂いた。前期高齢者、後期高齢者に対して、愛称として何か粋な名前があればいいと思う。

もう一点、広報誌で「健康チャレンジ」を見かけ、高田の介護予防センターでこの健康チャレンジを受けた。そこでとしまる体操も行った。また、そこでは筋力アップの筋トレやダンス、体操、筋トレ、としまる体操1・2を行っている。これは非常に地域に密着していることであるが、非常に参加者が少ない。確かに今はコロナという影響もあるかもしれないが、昔は朝ラジオ体操などで、地域の人たちが集っていた。そこでは、情報交換して、今度みんなで集まろうとかあった。しかし、今はそういう場が全然ない。例えば、この区民ひろばでは参加者が多いということや、男性参加者が他の区民ひろばと比べてこんなに多いところがあれば、ぜひその参加者たちの意見を聞き取って、広報としま等で写真を載せる等すると思う。また、参加者がふえた工夫や、男性が参加しやすくなり、男性の参加者が増えた等の報告を広報としま等でやるように声かけをお願いしたい。町会を通じて、ぜひ一緒にやって盛り上げていければと思う。

○会長 ありがとうございます。事務局、お願いします。

○高齢者福祉課長

委員の言うとおりに、フレイルの認知度はまだまだ80%、90%までにはいっておらず、半数近くかと思う。今回、フレイルチェックに参加いただき、その有効性をぜひ活動の中でいろいろな方に広めていただけるとありがたい。

前期高齢者、後期高齢者の愛称なのですからけれども、非常に難しい問題かと思うが、意見として承る。自分たちの活動グループの中で、自分たちはこういう愛称にしよう等、アイデアとしてあったらいい。

広報の件は、委員の言うとおりに、区民ひろばも数々の事業を実施している。高齢者福祉課としては数多くの事業を区民ひろばと連携して実施している。区民ひろばにも今日いただいた意見を伝えるとともに、自主グループの立ち上げ等を実施しているため、活動が成果や、男性の方が活動するための方法を、広報、またパンフレット等でも周知していきたい。貴重な意見をありがとうございました。

○委員 ありがとうございます。

○会長 委員、お願いいたします。

○委員 1点目は、参考資料1の6ページに、「元気あとおし事業の対象拡大、換金方法、換金限度額等を再検討し、より利用しやすい制度へ転換を図る」という説明がある。今、豊島区高齢者クラブ連合会も健康教室とか体力測定、いろいろなことをやっている。その際に健康チャレンジポイントを頂いて、400ポイント貯まると換金できるというようなシールへの切替えのことだと思うが、その使い勝手がよくなるように、1つお願いがある。健康チャレンジポイントでは、シールをもらうが、それが1cm角ぐらいの小さいもので、それを貼る台紙が大きめのチラシみたいなものである。それを買い物のポイントカードみたいな形でお財布に入るようなものを用意してもらえば、もっと利用が増えるかと思う。

それからもう一点は、参考資料1の18ページで、「第8期の具体的な取組」の3行目の「町会、自治会、民生委員・児童委員と継続して見守りの取り組みを進めていく」とあるが、実は豊島区高齢者クラブ連合会も事業活動の1つに見守り活動というものをやっている。そういう部分で、具体的なやり方等について、もし高齢者福祉課である程度決められている内容があれば、具体的な取組についても高齢者クラブに話をいただければ活動がしやすいかと思う。

○会長 事務局、お願いする。

○高齢者福祉課長

1点目の健康チャレンジのシールの件は、所管が地域保健課のため、頂いた意見を所管のほうにしっかりとお伝えさせていただく。

○高齢者福祉課管理グループ係長

2点目の見守り活動について、これからも活動を続けていただきたいと思います。今回セーフコミュニティで見守り支援のマニュアル等を作成した。豊島区高齢者クラブ連合会の見守りもさらに充実するように、連携しながらやっていきたいと思う。よろしく願います。

○会長 よろしいか。

○委員 はい。ありがとうございます。

○会長 そのほかはいかがか。

○委員 施策5の「在宅医療・介護連携の推進」の件について、在宅医療コーディネーター研修の参加人数が少ないと話があった。いま一度、在宅医療コーディネーター研修の意味合いというか、医療・介護の知識を併せ持った介護職の方を増やすということ以外に、例えば役職的なものが変わるとか、ポジション的なものが変わるとか、何か参加人数を増やすための方法があるのか、その辺をお聞かせいただきたい。

○会長 事務局、願います。

○高齢者福祉課基幹型センターグループ係長

在宅医療コーディネーターの関係の所管は地域保健課になるが、この在宅医療コーディネーターは、ホームページで承諾いただいた方については、上級編を修了した方をホームページで名前もアップしている。この在宅医療コーディネーターをさらにいい形で活用できたら、さらに在宅の支援の面でのレベルが上がっていくと考えている。

○会長 よろしいか。

○委員 ありがとうございます。

医療の知識を持った介護職員を増やすということが、目的と考えていいか。

○会長 事務局、願います。

○高齢者福祉課基幹型センターグループ係長 そのとおりである。この研修について実際に受講者は、主任介護支援専門員の更新研修の要件にも合致するようになっている。さらに推進していく。

○委員 ありがとうございます。

○会長 そのほかはいかがか。委員、願います。

○委員 資料2の2ページのフレイル等のアウトリーチ事業について、事前に質問させて

いただいたが、「アプローチ対象の拡大」、「地域の自主グループや町会へ働きかけを行い」というところに関して、そもそも地域の自主グループや町会へ顔を出すような人たちというのは外とのコンタクトが多い方たちのため、そうではない人たちに対しての働きかけが必要なのではないかということで疑問を呈し、この回答ではそれが共有できたかと感じている。そういった無関心層へのアプローチについて、見守りや訪問を実施するなど、今後も実施するということがありがたく思う。

一つ、意見として申し上げたいことは、まず、この豊島区介護保険事業計画推進会議委員として会議に参加するようになって、自分の住んでいる区がこんなにいろいろなことをやっていることを初めて知った。私は、一昨年、大きなけがをして、半年ほど休職して、杖を突きながら自宅療養していた。そのときに近所にフレイルやとしまる体操をやっているところがあるというのを広報で見た。そして、3回ぐらい行ってみて、とてもいいと思った。ただ、ここにも書かれているように、いつものメンバーという感じで、そうではない方には敷居が高いかなと感じた。

そういったところに足を運ぶのは意外とそんなに気軽にできるものではないと感じた。私が今住んでいるマンションには高齢の方たちがやはり多い。私が休職しているときにお買い物を手伝ってくれたりした一人暮らしの高齢者が二人いた。今でも会えば声をかけるが、この高齢者が少し元気ないと心配になることがあるが、私は、今は月曜日から金曜日で朝から夜まで働いているため、週末しか時間がない。例えば、としまる体操等を週末にでもやっていただければ、週末に、その高齢者の方と一緒にいくことができる。高齢者の方たちとそれ以外の人たちとで分断されているように思う。せっかくこんなにいい事業や利用できるものがあるのに、自分が高齢者になってみないと分からない、自分の親がそうになってみないと分からないという状況はもったいないと思う。40代、50代、60代、それぐらいの年齢からこういった事業に関われるように、知るようになるためには、可能であれば週末とかの時間も実施していただければと思う。

○会長 事務局、お願いします。

○高齢者福祉課長

フレイルチェックも、としまる体操についても各区民ひろばでも実施している。実はフレイル対策センターも介護予防センターも土曜日は実施しており、また、区民ひろばも土曜日、日曜日にも空いている。そこでとしまる体操を実施しているかは、各ひろばによるが、自主グループの活動もある。今回いただいた委員の意見等も踏まえながら今後も充実させ

ていきたいと思う。高齢者福祉課としては、高齢者の方々への働きかけであるが、区民ひろばは全世代の方が利用できるため、交流事業にも力を入れていると聞いている。そういった中で、高齢者だけ、若い方だけではないような、そういった取組の中で関わっていききたいと思う。

○会長 そのほかはいかがか。

○会長 では、続いての議題は、「豊島区高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画策定に向けたアンケート調査の報告について」である。事務局より御説明をお願いします。

【介護保険課長より資料3・参考資料2の説明】

【高齢者福祉課管理グループ係長より資料3-2・参考資料3の説明】

○会長 ただいまの説明に対して質問や意見があれば、挙手をお願いします。いかがか。委員、お願いします。

○委員 資料3と、参考資料2について、内容に疑問点があるため質問させていただく。

1 点目、参考資料2の50ページに棒グラフとその基になっている数字のテーブルがあるが、ここの全体の数字と棒グラフの数字が合っていないかと思う。このようなところが参考資料2では10か所以上あったように思うため、一度見直していただきたい。

2 点目は、ケアマネジャーに対するアンケートについて、本業ではない事務的な部分でなかなか時間が取れないというある意味では非常に突出した問題点が載せられている。これは、システム化をするなど、申し越し早く取り組んでいただいたほうがいいと思う。

○会長 それでは、事務局、お願いします。

○介護保険課長

まず指摘があった数字について、50ページのところかと思うが、それ以外のところも、例えば34ページ等も人数の違いがある。こちらは、冒頭で説明させていただいたが、分析をするに当たっては、資料3の3ページに記載してあるが、在宅介護実態調査の80件を加算した形で分析した部分と、人数が少ないところは具体的な介護度が在宅介護実態調査で把握できていなかったため、クロス集計には用いることができていないものとなっている。おそらく、その部分かとは思いますが、いま一度数字は精査していく。

○委員 例えば、参考資料2の14ページに図表18ということでテーブルが載っている部分があり、それに対して棒グラフがある。基本的にはこの全体のパーセンテージのどこ

ろがそのまま棒グラフになるべきなのであるが、しかし、これはなっていないということでお話しさせていただいた。まだこのテーブルそのものが調整済みではなければ、今回は最終版ではないため、よく見ていただければと思う。

○介護保険課長

今ちょうど指摘いただいた14ページの部分につきましては差が80件となっている。在宅介護実態調査の80件を反映したものが上の棒グラフになっており、下の図表18についてはアンケート調査の結果のみの集計となっているため、数字が80合っていないという状況になっている。委員が言うとおりに、数字が上の図と下の表で違うというところは分かりにくいかと思う。その部分について注釈を加えるか、表現の仕方等考えていきたい。

○委員 全部の表と棒グラフが違っているのであればその意味合いは分かるが、合っているとところもあるため、気になった次第です。これは見直していただいて修正するなりコメントをつけるなりすれば問題ないと思う。

○介護保険課長 ありがとうございます。

○介護保険事業者指定グループ係長 2点目のケアマネジャーの事務的な部分の負担に関して、本来のケアマネジメント業務の他に、書類の作成などに時間がどうしても割かれているという現状があるというのはよく聞く。業務効率化という部分では、ICTの活用等が、今後重要になってくると思う。第5回豊島区介護保険事業計画推進会議資料に関するご意見・ご要望についての資料、1ページ目のNo.5にあるように、業務の効率化に大きく関連するケアプランデータ連携システムの導入状況について区として把握及び推進を行っていくのかという質問を事前に委員からいただいている。こちらは、令和5年4月からケアプランデータ連携システムを厚生労働省が稼働するもので、介護サービス事業者と居宅介護支援事業所の間でそれぞれが持っているシステムを通じてケアプランのデータのやり取りができるようになる。現在は、厚生労働省が準備を進めている。こちらはまだ稼働していない準備段階ということもあり、今後こういった形で推移していくかということについては、見えないが、やはり業務効率化に資するものであることは間違いない。これらについては、4月以降の動向を見ながら、区としても情報提供や、場合によってはその導入状況の調査等を行っていく。

○会長 よろしいか。

○委員 ありがとうございます。

○会長 そのほかはいかがか。——特によろしいか。

それでは、ただいま各委員から頂いた意見について事務局より何かあるか。

○介護保険課長 今いただいた意見等を踏まえてアンケートの結果に反映させていただく。また、報告書を年度内に完成させる必要があるため、今回の意見を基に作成する報告書の内容の修正等につきましては会長一任、事務局と調整させていただきたい。

○会長 各委員、事務局の提案どおり会長一任ということによろしいか。

(承認)

では、会長一任ということでもとめていく。

○会長 それでは、続いて地域密着型サービス運営委員会に入る。

議題は「地域密着型サービス事業所の指定・指定更新について」である。

事務局より説明をお願いします。

【介護保険課事業者指定 G 係長より資料の説明】

○会長 説明ありがとうございました。

ただいま説明の内容に質問とか意見はあるか。いかがか。——特によろしいか。

では、承認ということにしたいと思うが、よろしいか。

(承認)

承認いただいたということで、ありがとうございます。

本日予定しておりました議事はこれで終了となる。事務局より事務連絡があればお願いする。

○介護保険課長 次回の会議の開催は、7月中旬の開催を予定している。日程が決まり次第、開催通知をお送りさせていただく。

○会長 これをもちまして第5回介護保険事業計画推進会議を閉会とさせていただく。

ありがとうございました。

【配布資料】

会議次第

資料1 委員名簿

資料2 『豊島区高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画』における高齢者の自立支援、重度化防止等の「取組と目標」に関する進捗状況について（概要）（令和4年度前期）

資料3 豊島区介護保険アンケート調査報告書(概要版)(案)

資料3-2 令和4年度豊島区介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書 概要版（案）

資料4 地域密着型事業所の新規指定・指定更新について

参考資料1 高齢者の自立支援、重度化防止等の「取組と目標」に関する進捗状況について

参考資料2 豊島区介護保険アンケート調査報告書（案）

参考資料3 令和4年度豊島区介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書（案）